

7 参加資格・規定について

(1) 鹿児島県高等学校文化連盟加盟校の生徒に限る。

(2) 朗読部門の課題及び各部門の参加規定については、「第59回NHK杯全国高校放送コンテスト要項」に準じる。とくに番組部門で利用する音楽等の著作権の処理については要項と様式2-6(P18)、様式2-7(P19)を熟読の上、しっかり行うこと。著作権フリーのものを使用することが望ましい。ただし、インターネット上のは使用しない。

(3) 原稿・作品の提出について

アナウンス・朗読部門の原稿及び番組制作部門の作品については校内放送研究No.157(第59回NHK杯全国高校放送コンテスト要項)に従うこと。

原稿用紙、台本用紙、使用著作物一覧用紙、音源使用許諾申請書用紙は要項P2のURLによりコンテストホームページからすべてダウンロードして使用して下さい。

(4) 各部門について

A. アナウンス部門

- ①参加人数は各校3名以内とする。
- ②アナウンスする内容は、自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限る。
- ③アナウンスのはじめに、番号と氏名を読むこととし(学校名は読まない)、時間はそれらを含め、1分10秒以上1分30秒以内とする。字数は制限しない。
- ④事前に提出するアナウンス原稿は、様式1に従い、指定の原稿用紙を使用し、縦書き、袋綴じして、右側2箇所をホチキスで止め、仕上がりA5版で6部(コピー可)作成・提出する。なお、提出後の内容の変更は認めない。

B. 朗読部門

- ①参加人数は各校3名以内とする。
- ②次の指定作品の中から1編を選び、自分の表現したい部分を抽出して朗読する。作品の改変は認めない。

朗読指定作品

- 1) 「銀の匙」 中 勘助 著(岩波文庫)
- 2) 「ひとり暮らし」 谷川俊太郎 著(新潮文庫)
- 3) 「さがしもの」 角田 光代 著(新潮文庫)
- 4) 「人間の土地」 サン=テグジュペリ 著、堀口 大學 訳(新潮文庫)
- 5) 「徒然草」 吉田 兼好 著

【注意：2)～3)は収録作品のいずれを選んでも良い。5)は現代語訳不可、出版社は問わない。】

- ③朗読のはじめに、番号、氏名、作者名(訳者名は読まない)、作品名を読むこととし(学校名は読まない)、時間はそれらを含め1分30秒以上2分以内とする。字数は制限しない。
※指定作品3)は選定した短編名を作品名として読むこと。
- ④事前に提出する朗読原稿は、様式1に従い、指定の原稿用紙を使用し、縦書き、袋綴じして、右側2箇所をホチキスで止め、仕上がりA5版で6部(コピー可)作成・提出する。また、1)～4)については原稿表紙に抽出部分の開始ページ数を記入する。なお、提出後の作品、朗読箇所の変更は認めない。

C. ラジオドキュメント部門

- ①作品数の制限はありません。
- ②高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切にしたい、独創的な作品であること。
- ③様式規定に従った**台本2部**を作成・提出する。なお、提出後のタイトル・内容の変更は認めない。
- ④作品は、6分30秒以上7分以内でまとめる。作品の最後には「制作は〇〇高等学校（放送部・放送委員会等）でした。」というクレジットコールを入れる。クレジットコールには、クレジットコール以外の音声を入れない。
- ⑤作品は次のメディア・形式で収めること。
 - a. 審査用：CD-DA形式（音楽CDと同じ形式）で録音されたCD-R。
 - b. バックアップ用：MD（標準モードで録音し、トラックを1つにまとめる。LPモード、Hi-MDは不可）、またはオーディオカセットテープ（ドルビー等のノイズリダクション方式を使用してはいけない）。

D. テレビドキュメント部門

- ①作品数の制限はありません。
- ②高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切にしたい、独創的な作品であること。
- ③様式規定に従った**台本2部**を作成・提出する。なお、提出後のタイトル・内容の変更は認めない。
- ④作品は、7分30秒以上8分以内でまとめる。作品の最後には、制作した学校のクレジットタイトルを入れる。作品の前後には5秒ずつ**ホームページからダウンロードした**、様式3（P19）のテストパターンを録画する。この際、テストパターンを改変してはいけない。
- ⑤テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認めない。
- ⑥作品は次のメディア・形式で収めること。
 - a. 審査用：DVD-VIDEO形式（NTSC規格、アスペクト比**16:9**または4:3）で録画されたDVD-R。なお、メニューは付けない。**【アスペクト比が今年から変更になりました】**
 - b. バックアップ用：VHSテープ。なお、VHS方式の標準モードで録画し音声はHi-Fiのみ使用する。

E. 創作ラジオドラマ部門

- ①作品数の制限はありません。
- ②脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。文芸作品などからの脚色や改作は認めない。
- ③様式規定に従った**台本2部**を作成・提出する。なお、提出後のタイトル・内容の変更は認めない。
- ④作品は、8分以内でまとめる。作品の最後には「制作は〇〇高等学校（放送部・放送委員会等）でした。」というクレジットコールを入れる。クレジットコールには、クレジットコール以外の音声を入れない。
- ⑤出演者は、自校生徒（中高一貫校の場合は高校生のみ）に限る。
- ⑥作品は次のメディア・形式で収めること。
 - a. 審査用：CD-DA形式（音楽CDと同じ形式）で録音されたCD-R。
 - b. バックアップ用：MD（標準モードで録音し、トラックを1つにまとめる。LPモード、Hi-MDは不可）、またはオーディオカセットテープ（ドルビー等のノイズリダクション方式を使用してはいけない）。

F. 創作テレビドラマ部門

- ①作品数の制限はありません。
- ②脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。文芸作品などからの脚色や改作は認めない。
- ③様式規定に従った**台本2部**を作成・提出する。なお、提出後のタイトル・内容の変更は認めない。
- ④作品は、8分以内でまとめる。作品の最後には、制作した学校のクレジットタイトルを入れる。作品の前後には5秒ずつ、ホームページからダウンロードした、様式3のテストパターンを録画する。この際、テストパターンを改変してはいけない。
- ⑤出演者は、自校生徒（中高一貫校の場合は高校生のみ）に限る。
- ⑥作品は次のメディア・形式で収めること。
 - a. 審査用：DVD-VIDEO 形式（NTSC 規格、アスペクト比 **16:9 または 4:3**）で録画された DVD-R。
なお、メニューは付けない。【**アスペクト比が今年から変更になりました**】
 - b. バックアップ用：VHS テープ。なお、VHS 方式の標準モードで録画し音声は Hi-Fi のみ使用する。

※（C～Fについて）制作に当たっての注意事項

- ①審査は会場の機材を使用して行う。従って作品は、大会提出前に複数の一般の機（CDプレーヤー・DVD プレーヤー等）で再生できるかどうかチェックを行うこと。
- ②計時は、テレビ各部門は、初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとし、ラジオ各部門は最初の音から、クレジットコールの終り（……でした）までとする
- ③参加作品をNHKの地域放送や夏のテレビクラブなどで放送したり、イベントやホームページ、印刷物等に利用することがあるので、制作にあたっては、番組に登場する著作物の権利者や出演者、協力していただいた方々などに利用のための許諾を得ておくこと。許諾を得られないときには放送できないことがある。
- ④番組の作品については、学校名、部門名、作品名を油性マジックで記入すること。

G. 校内放送研究部門

①発表内容について

校内放送に関するものに限る（校内放送の技術、機材、アナウンス・朗読の技術、番組の制作や編集の技術、部活動・委員会活動の運営方法など）。当コンテストにエントリーしている関連の内容、または類似の内容であってはいけない（本年度の大会参加作品の上映は、たとえ一部であっても一切認めない）。

②発表方法

発表時間は、機材調整を含め8分以内とし、発表者は機器操作を含め3人以内とする。また発表時間内であれば、会場に資料を配付してもかまわない。発表形式は、主にパソコンを使用したスクリーン1面によるプレゼンテーションとする。2画面の投影はできない。ビデオや録音を主体とする発表は認めない。会場には、主催者が以下の発表機器を用意する。

a. ノートパソコン（Windows 7）1台

アプリケーションソフトウェアは

・**PowerPoint2010**

・**Word2010**

・Internet Explorer（インターネットには接続できない）

b. MD-CD ラジカセ

c. ビデオデッキ（VHS）

- d. DVD プレーヤー
- e. マイク（2本）
- f. レーザーポインター

③参加申込および要旨の提出

出場校は、学校名や研究要旨（研究の目的と方法論と結論を、わかりやすく 200 字程度でまとめたもの）を入力したエクセル形式のデータを提出すること。

④発表データの提出

出場校は、発表で使用するパソコンのデータを 1 校につき CD-R に 5MB 以内にまとめて提出する。

(5) 提出に際しての注意事項

提出の際には参加申込用紙は別の小封筒に入れ、原稿、作品、台本と共に郵送してください。（事故防止のためです）

(6) 提出期限

5月28日（月）16：30必着。（作業日の余裕がないため、期日厳守でお願いします。）